

【活動方針・重点課題】

昨年 9 月 6 日に発生した胆振東部地震は北海道に甚大な被害をもたらす、復興未だ道半ばの地域もあります。本会においても災害時の体制（組織内・対外的支援）について今一度見直さなければなりません。

昨年 10 月に理学療法士の養成施設指定規則の改正が示され、その中で臨床実習指導者の講習会受講が義務化されました。加えて日本理学療法士協会の新生涯学習システムについても具体的な内容が提示されはじめ、我々理学療法士の資質の向上を対外的にも求められる時代になっています。

また、今年には国の方向性を左右する大きな選挙が実施されます。継続可能な社会保障制度の確立や我々理学療法士の職域拡大に向けて大きく羽ばたける年にしなければなりません。

本会は昨年、創立から半世紀を迎えました。北海道における理学療法士の新たな可能性に挑戦する一歩目を輝かしい年とするためにも会員の皆様の一層のご理解をお願いいたします。

1. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化

地域包括ケアシステムの確立に向け、北海道リハビリテーション専門職協会を窓口とした対応を継続します。特に介護予防事業については、シルバーリハビリ体操指導士育成のモデル事業を一昨年道北支部で開始し、昨年度は住民主体型の総合事業を推進するために北海道リハビリテーション専門職協会を受託した基金を使った介護予防モデル事業を被災地域でも実施しました。これを継続する流れで、本年度も同様の基金事業を広げていきたいと考えています。

地域包括ケアシステムについての会員への啓発活動を継続し、地域住民による平時からの連携が災害時にも活用できるということも含めた支援体制の整備を進めていきたいと考えています。

2. 組織力強化のための管理者ネットワークの整備、積極的活用

活発になっている各支部の事業展開を支えるために事務作業を士会事務局で集約し効率化を進めます。その手段のひとつとして管理者ネットワークの充実が重要となります。管理者ネットワークの基本理念に沿ったシステムを構築するためにも全施設での管理者登録を進め、機能的な活用を推進します。この充実に図るために昨年に続き、各支部での協会指定管理者の初級研修会に加えて職域別研修会を開催し、更には施設管理者上級の取得を推進します。

また、本会の組織力を強化するためには、各市町村との関係構築が重要です。そのためにも 179 市町村に士会担当を設置し、管理者ネットワークの活用を進めます。また、会員数の増加が予測される中、今後に向けた士会組織の中での支部のあり方について検討を開始します。

3. 学術・教育活動の推進

理学療法士の資質の向上を図るための基本となる新人教育プログラムの履修及び修了を促進させるとともに若手会員の臨床能力の向上に取り組むために研修会の開催を進めます。

昨年 10 月「理学療法士及び作業療法士の学校養成施設指定規則」の改正が示され、この中で臨床実習指導者講習会受講が義務づけられましたので、全国リハビリテーション学校協会北海道ブロックと連携し、当該講習会の開催を支援することで、道内での臨床実習体制の整備を進めます。また、日本理学療法士協会が進めている新生涯学習システムについて積極的な情報発信を進めていきます。

4. 道民の健康増進と障害予防の推進

道民のための予防理学療法の普及促進のために市民スポーツ大会等の支援を継続し、この領域で活躍できる会員の育成するための講習会の開催や会員のデータベース化の充実を推進します。

また、道内のスポーツ活動の活性化に繋がるように士会としてオリンピック・パラリンピックへの支援に向けた研修体制を整備するために、スポーツ局を新設し支援強化を行います。その中では、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の「理学療法サービススタッフ」として選出された士会員に対する支援を検討します。

5. 北海道理学療法士連盟との連携強化

理学療法士の職域の維持・拡大に向けて立法府に理学療法士を送り続けなければなりません。高齢者や障がい者の言葉を代弁する者の声が、国民への適切なリハビリテーションサービスの提供に繋がります。また職能活動の充実を図るためにも理学療法士の政治力を強化しなければなりません。今年は、春の統一地方選挙や夏の参議院選挙が予定されていますので、今まで以上に連盟組織と連携して、国政・道政へのアプローチを継続し、道内選出の国会議員や道議会議員等との連携も図っていきます。

6. 効率的事業運営のための執行体制の整備・部局の新設

士会組織体制の強化を図るために副会長の役割を明確にして増員し、士会事業の活性化に繋がります。

また、スポーツ支援体制を強化するために社会局のスポーツ支援部をスポーツ局として独立させ、生涯スポーツ支援部と障がい者スポーツ支援部を設置し集中的な対応を進めます。また、社会局に災害リハビリテーション支援部を設置し、組織内の体制整備や対外的な災害リハビリテーション支援体制についての対応を進めます。

《平成31年度重点事業計画》

1. 地域包括ケアシステム関連事業の推進と強化
2. 組織力強化のための管理者ネットワークの整備、積極的活用
3. 学術・教育活動の推進
4. 道民の健康増進と障害予防の推進
5. 北海道理学療法士連盟との連携強化
6. 効率的事業運営のための執行体制の整備・部局の新設

平成 31 年度事務局事業計画

事務局

局長

柿澤 雅史

【活動方針・重点課題】

一昨年度からの会計処理方法の変更、昨年度の理学療法士の事務局常勤職員採用により、事務処理機能の集約と強化を図ってまいりました。これらにより支部、各部局における一部の事務負担の軽減は図れましたが、会員数の劇的な増加や北海道リハビリテーション専門職協会（HARP）の地域リハビリテーション指導者養成等事業において、新たに開始された地域づくりによる介護予防推進事業に関する事務も加わったことから、事務的業務量はより増加しています。事務局内における業務分担の整理、管理者ネットワークを活用した各地域における円滑な情報伝達、また、HARPに係る事務の分掌等に関しては、北海道作業療法士会や北海道言語聴覚士会ともに検討し、効率的運用を行います。

昨年の胆振東部地震の際、大規模停電に伴い、事務局機能がほぼ 2 日間に亘り、完全にストップしました。災害時においても、その機能を果たせるよう他局とも連携し、検討してまいります。

各支部、部局の様々な活動がより活発に、多岐にわたる中、これに十分に対応し得るよう、引き続き組織のあり方について、規程等の見直しも含め、検討してまいります。

【各部事業】

〈総務・財務部〉

〈公 1：医療保健福祉事業〉

- ・行政等が設置する各種諮問委員会等への委員の派遣
- ・講師の派遣

〈その他事業〉

- ・監督官庁・関連団体との渉外活動
- ・代議員総会の企画運営
- ・文書管理（発行文書、受領文書、会議録、議事録、報告書など）
- ・会員管理（異動、慶弔、主催共催事業参加状況など）
- ・他部局支援（受講受付、発送業務、集計業務、ニュース割り付けなど）
- ・財務管理（財務執行、予算、事業支出・収入、会費、租税公課、補助金など）
- ・新年交礼会の企画運営
- ・ホームページ管理

【事務局派遣協力事業】

- ・北海道総合在宅ケア事業団への協力および事業参加

【関係団体協力事業】

- ・北海道医療・福祉関係職能団体等意見交換会への参加協力
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会への参加協力
- ・北海道肢体不自由児者福祉連合協会への参加協力
- ・札幌市地域リハビリテーション推進協議会への参加協力

平成 31 年度学術局事業計画

学術局

局長

杉原 俊一

【活動方針・重点課題】

新しい生涯学習システムを踏まえ、教育局との連携を図りながら専門領域部・学会研修部・学術誌部が有機的に機能し、キャリアステージを考慮した研修体制の充実、プロフェッションとしての情報発信を目指します。専門領域部では、技術講習会及び理学療法士講習会応用編の追加による受講者数の増大、学会研修部では、1) 学術大会の支援、2) 学術研修大会助成金事業の公募、3) 査読システムによる質の高い発表内容の充実。また、学術誌部においては、1) 北海道理学療法第 36 巻の発刊、2) 編集会議の充実による投稿者数の増大を目指して参ります。

【各部事業】

〈学会研修部〉

《公 2：学術振興事業》

- ・学会研修部会議
- ・第 70 回北海道理学療法士学術大会の開催支援
- ・第 71 回北海道理学療法士学術大会（道北支部：旭川市）の開催計画支援
- ・学会間の円滑な引継ぎ支援
- ・学術研修大会助成金事業の公募

〈学術誌部〉

《公 2：学術振興事業》

- ・北海道理学療法編集会議
- ・北海道理学療法投稿規定の見直し
- ・北海道理学療法 36 巻の発刊

〈専門領域部〉

《公 2：学術振興事業》

- ・専門領域部会議
- ・各専門領域の技術講習会開催（第 207 回～212 回）
- ・理学療法士講習会（応用編）の開催
 - 肩関節の理学療法評価と治療～ 開催日：2019 年 6 月 1 日～2 日
 - 脳性まひ児の治療と評価～ 開催日：2019 年 6 月 29 日～30 日
 - 生活期に必要な福祉用具とその活用の仕方（仮）～ 開催日：2019 年 9 月～10 月
 - 足部・足関節疾患に対するスポーツ理学療法～ 開催日：2019 年 10 月
 - ニューロサイエンスに基づく、運動学習、姿勢制御～ 開催日：2019 年 12 月
- ・新しい生涯学習システムを考慮した技術講習会の企画

平成 31 年度教育局事業計画

教育局

局長

加藤 新司

【活動方針・重点課題】

教育局は、会員の卒後教育の一環を担い、協会の新人教育に合わせ基礎力向上のための研修会、講習会の企画、実施や、健康増進・障害予防等の公益事業に資する人材の育成を図ることにより、道民の保健・医療・福祉に貢献することを目的に教育部と職域教育部の二つの部で活動します。

教育部は、新人教育プログラムの履修促進と若手会員の臨床能力向上、新人教育プログラムを終了した会員に対し認定理学療法士の取得を促進していくことを重点目標とし事業展開していきます。新人教育プログラムは、必須初期研修会を札幌開催に加え、地方開催していくことで参加の分散と多くの会員が受講できるようにしていきます。また複数テーマを選択できる選択研修会を例年通り実施していきます。若手会員に対する臨床能力向上のための事業では、理学療法士講習会基本編を昨年度の8本から10本へ増やし、運動器、神経、呼吸、心臓、生活環境とほぼ全領域をカバーできるような講習会を企画していきます。さらに内3本は、支部との協働のもと地方開催とし、全道域で受講しやすい環境を作っていきます。一部の講習会は、学術局で実施される理学療法士講習会応用編とリンクし、内容的にもレベル的にも基本編から応用編へステップアップしていく内容として事業展開していく予定となっています。また認定理学療法士の取得促進では、講習会の実施だけではなく、支部事業局や各支部と連携を取り、情報を効率よく発信していくことが必要となり、情報発信から講習会実施まで会員の認定理学療法士取得に向けた活動を強化していきます。

職域教育部においては、介護予防関係や道内スポーツ関連への傷害予防に向け、人材育成をはかるためスポーツ支援育成講習会と健康支援育成講習会を例年通り実施していく予定です。来年度はスポーツ支援講習会を地方開催していくことも予定しており、少しずつではありますが、全道域を意識した人材育成を考えています。また健康支援育成講習会は必要に応じ職域局との連携をとり、柔軟に事業展開できるよう対応していくことを考えています。

【各部事業】

〈教育部〉

《公2：学術振興事業》

- ・ 教育部会議
- ・ 理学療法士講習会（基本編理論、技術 10 本）

徒手的理学療法の基礎～四肢に関して～ 受講定員 100 名、会場：製鉄記念室蘭病院

観察による歩行分析 受講定員 100 名 会場：北海道文教大学

画像の診方～中枢編～ 受講定員 100 名 会場：十勝リハビリテーションセンター

変形性膝関節症と腰痛症に対する評価と治療 受講定員 70 名、会場：札幌予定

脳血管障害及び神経難病に対する評価と治療 受講定員 70 名、会場：釧路協立病院

呼吸リハビリテーションにおける評価と治療 受講定員 80 名、会場：市立札幌病院

心臓リハビリテーションにおける評価と治療 受講定員 80 名、会場：市立札幌病院

生活環境支援理学療法に必要なマネジメントと実践 受講定員 100 名、会場：北海道文教大学

関節可動域治療の基本～下肢に対する関節可動域治療手技（基本編実技）受講定員 40 名、
会場：札幌リハビリテーション専門学校

関節可動域治療の基本～上肢に対する関節可動域治療手技（基本編実技）受講定員 40 名、
会場：札幌リハビリテーション専門学校

《その他事業》

- ・ 新人教育プログラム
必須初期研修会（A1～5）（札幌開催、帯広開催）
選択研修会（B～Eの6テーマ）（札幌開催）
- ・ 新人教育プログラムテーマ承認作業（総務部と協働）

《職域教育部》

《公2：学術振興事業》

- ・ 第24回スポーツ支援育成講習会
- ・ 第25回スポーツ支援育成講習会
- ・ 第26回スポーツ支援育成講習会
- ・ 第13回健康支援育成講習会
- ・ 第14回健康支援育成講習会
- ・ 職域教育部会議

平成 31 年度社会局事業計画

社会局

局長

長井豊貴

【活動方針・重点課題】

社会局は理学療法士と社会（地域）、双方の窓口として、理学療法士が専門知識・技術をもって社会貢献する会員を支援するとともに、理学療法（士）の啓発を行うことに主眼に活動しております。

平成 31 年度の計画は、スポーツ支援部では、2020 オリンピック・パラリンピックを契機に生涯スポーツに対する関心が強くなってきている現状を踏まえつつ、北海道マラソン救護班や高野連メディカルサポートの活動支援を継続し、スポーツ関連事業へのスタッフ派遣も視野に入れるなどしながらスポーツメディカルサポート会員データバンクを作成する予定です。介護予防・健康増進支援部では、他団体からの派遣要請に対しても引き続き会員の皆様のご協力を得ながら対応するとともに昨年度作成しました「客体事業への会員派遣に係る内規」を活用した会員派遣を実施してまいります。また、札幌市内での派遣要請については札幌支部との調整を積極的に図りながら実施してまいります。企画推進部では、各支部での啓蒙活動を継続支援するとともに幅広い世代に対応するための啓蒙パッケージの模索を継続します。広報部では、士会ニュースの新たな方向性を検討し、次年度に改定できるよう協議を進めるとともに、新たな広報用リーフレット作成を検討していきます。

【各部事業】

〈スポーツ支援部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・北海道マラソン救護班派遣
- ・高野連メディカルサポート支援（高野連メディカルサポート連絡協議会への参画）
- ・スポーツ関連事業へのスタッフ派遣・調整（パラスポーツへのサポート活動を含む）
- ・スポーツ派遣支援のための情報ネットワーク構築

〈介護予防・健康増進支援部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・いきいき健康・福祉フェア 2019 への企画参入と出展
- ・札幌刑務所社会復帰支援プログラムへの講師派遣
- ・介護予防・健康増進関連事業へのスタッフ派遣・調整 1（依頼先から謝金無いもの）
- ・介護予防・健康増進関連事業へのスタッフ派遣・調整 2（老人福祉センターへの派遣）

〈企画推進部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・支部社会部長会議
- ・理学療法週間事業（支部との連携・支援・広報物品の調整）
- ・北海道医療技術者団体連絡協議会パネル展への出展
- ・道民向け啓発セミナー1（パッケージ制作と周知）
- ・道民向け啓発セミナー2（小学生及びその保護者対象）
- ・社会分野小委員会の開催に関すること（社会分野奨励賞）

〈広報部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・啓発用リーフレットの作成
- ・ホームページへ掲載する啓発原稿の作成

《公 2：学術振興事業》

- ・士会ニュース「Northerner」の編集・発行、取材・撮影

平成 31 年度職能局事業計画

職能局

局長

濱本 龍哉

【活動方針・重点課題】

職能局は支部職能部と連携して地域包括ケアシステムの推進の支援を継続します。同時に職能団体としての機能充実に向け、市町村単位、機能的な地区単位での活動の活性化に向けて管理者ネットワークの形成に向けた活動を継続して行っていきます。

保険事業部では、診療報酬及び介護報酬関連の情報収集と整理、情報配信、会員からの疑義解釈について回答、調査を継続して実施して行いきます。また、制度の変更や方向性を意識した研修・意見交換等を企画します

職域事業部では、職能領域拡大に向けた社会・医療関連情報、職場環境等の情報の収集と会員への提供を通じて、会員の職能関連施策に関する視野の拡大を図る活動を継続します。職場・職域偏倚への対応として介護保険領域への活動を継続します。休職者の職場復帰に向けての支援についても継続して行いきます。また、昨年に引き続き大規模な状況把握調査を実施し、会員のおかれている環境実態の把握、課題分析等を行います。

地域包括ケア推進部では、会員への地域包括ケアシステムに対する啓発と地域における介護予防、ケア会議への参加を担う人材への研修を行っていきます。また、北海道リハビリテーション専門職協会と連携した各地域の活動をめざし、会員への広報活動を行っていきます。

【職能局事業】

《公 2：学術振興事業》

- ・支部職能部合同会議
- ・職能局会議

【各部事業】

〈保険事業部〉

《その他事業》

- ・診療報酬・介護報酬関連の情報収集・整理・情報配信
- ・診療報酬及び介護報酬関連の会員からの質問への回答
- ・診療報酬・介護報酬関連の調査
- ・診療報酬・介護報酬改定に伴う制度についての研修・意見交換等の企画

〈職域事業部〉

《その他事業》

- ・職域事業部会議
- ・理学療法士の職域拡大に向けた啓発・提案事業
- ・会員動向把握事業
- ・職能に関する情報提供事業
- ・施設管理者ネットワーク構築事業
- ・復職支援事業担当会議
- ・休職している会員対象ワークショップ
- ・介護予防事業で理学療法業務から離れている会員の活用検討事業
- ・北海道の理学療法士数の職域偏倚緩和に向けた事業
- ・介護領域の理学療法士が増えるための戦略会議
- ・介護保険領域の従事を考えてもらうためのワークショップ
- ・介護施設での実習受け入れ増加を目的とした広報活動
- ・養成校における介護保険領域に関する意識・知識の実態調査
- ・初級管理者研修（10 支部）

〈地域包括ケア推進部〉

《公2：学術振興事業》

- ・地域包括ケアシステムを学ぼう
- ・地域包括ケア研修会（中堅対象）
- ・地域包括ケア推進リーダー導入研修会
- ・介護予防推進リーダー導入研修会

《その他事業》

- ・地域包括ケア推進部会議
- ・支部活動相談・支援事業（学会開催時ブースの設置）
- ・装具相談窓口設立事業
- ・地域包括ケア推進部広報事業

平成 31 年度支部事業局事業計画

支部事業局

局長

信太 雅洋

【活動方針・重点課題】

支部事業局は、各支部の事業計画や予算の立案、事業の実施や決算の報告などを支援します。支部毎に独立した事業が増加する中で、支部内の組織力強化も視野に入れて支援します。

平成 31 年度は、拡大支部事業局会議を計画し、各支部の学術・教育活動、社会活動、職能活動について全道均一のサービスが行えるよう事業計画を支援しながら支部の特色（特性）ある活動も支援します。職能局との連携を図り地域包括ケアシステムに関連した活動（特に住民参加型介護予防活動として体操指導士の養成講座の開催や産官連携事業）を支援します。また、学術局との連携を図り新たに支部学術研修大会を一部の支部で開催支援します。災害関連や障がい者スポーツへの対応など、更に広がる職域に対しても柔軟に対応するべく、他局とも連携して支部支援します。

【各支部事業】

〈道南支部〉

《公 1：医療保健福祉事業》

- ・道南支部各種派遣事業（函館マラソンメディカルサポート、高校野球大会メディカルサポート、ダイハツ工業との地域密着プロジェクト事業「健康安全運転講座」、南渡島地域リハビリテーション推進会議）
- ・道南支部理学療法週間事業（函館市 NPO まつり出展参加）
- ・道南支部社会部会議（年 3 回）
- ・道南支部 函館蔦屋書店 未来づくりマルシェ『人とつながる、未来とつながる』

《公 2：学術振興事業》

- ・道南支部社会部研修会「スポーツリハ研修会（仮）」年度末実施予定
- ・道南支部学術教育部会議：年 5 回（7 月、9 月、10 月、1 月、2 月予定）
- ・道南支部症例検討会：年 4 回（7 月、9 月、11 月、1 月予定）
- ・道南支部研修会：年 4 回（9 月、11 月、12 月、1 月予定）
- ・第 5 回 道南理学療法士学術大会（7 月～10 月）
- ・第 1 回 道南理学療法士学術研修大会（11 月～2 月）
- ・道南支部役員会議：4 回（6 月、10 月、12 月、3 月）

《その他事業》

- ・道南支部職能部会議：年 4 回（4 月、7 月、10 月、1 月予定）
- ・道南支部新人教育プログラム選択研修会：年 3 回（時期未定）
- ・道南支部職能部研修会「災害リハビリテーション研修会（仮題）」（秋頃）
- ・道南支部「地域包括ケアを学ぼう」伝達講習会
- ・道南支部新人歓迎会：7 月
- ・道南支部管理者研修会

〈日胆支部〉

〈公1:医療保健福祉事業〉

- ・日胆支部理学療法週間事業（伊達市ふれあい広場 2019 出展・市民公開講座）
- ・日胆支部健康フェスタとまこまい 2019
- ・日胆支部高野連メディカルサポート 3 回（高野連室蘭地区大会 春季・夏季・秋季）
- ・日胆支部各種派遣事業 介護認定審査会審査員の推薦派遣（苫小牧・室蘭・登別）、西胆振地域リハビリテーション推進会議役員派遣 など

〈公2:学術振興事業〉

- ・日胆支部講習会 5 回（苫小牧 1 回 室蘭 2 回 伊達 1 回 日高 1 回）
- ・日胆支部症例検討会 6 回（苫小牧 2 回 室蘭 2 回 伊達 1 回 日高 1 回）
- ・日胆支部役員会議 2 回
- ・日胆支部地区運営委員会 8 回（苫小牧・室蘭・伊達、日高 各 2 回）

〈その他事業〉

- ・日胆支部新人研修プログラム選択研修会（伊達）
- ・日胆支部ニュースの発行
- ・日胆支部新人歓迎会 4 回（苫小牧・室蘭・伊達・日高）
- ・日胆支部管理者研修会

〈札幌支部〉

〈公1:医療保健福祉事業〉

- ・札幌支部介護予防事業・健康まつりへの参画（清田：9 月予定）
- ・札幌支部理学療法週間事業～さっぽろ医療&福祉フェスタ～（7 月 ～てんとう虫テスト、バランス測定の実施 福祉機器展示・紹介等も含む）
- ・札幌支部高校野球メディカルサポート（予選 5 月、7 月、9 月：3 回）
- ・札幌市立高校 高校生職場体験（対象病院施設調整 8～10 月）
- ・札幌支部各種推薦派遣事業（随時対応）

〈公2:学術振興事業〉

- ・「第 6 回札幌理学療法学術大会」（演題数 10 演題＋特別講演＋セミナー：2 月）
- ・札幌支部講習会（運動器系：6 月、地域サービス事業：9 月、それぞれ半日開催予定）
- ・札幌支部役員会 3 回

〈その他事業〉

- ・札幌支部新人教育プログラム選択研修会（8 月、第 6 回札幌理学療法学術大会内での開催、2+2 テーマ）
- ・札幌支部講師バンク・スタッフバンクの管理修正
- ・札幌支部管理者研修会（10 月）

〈石狩支部〉

〈公1:医療保健福祉事業〉

- ・石狩支部北広島市元気フェスティバル（8/26）
- ・石狩支部千歳市健康祭り（9/7）
- ・石狩支部石狩いきいきフェスタ（10 月）
- ・石狩支部理学療法週間事業 高校生理学療法見学・体験（7 月～8 月）
- ・石狩支部理学療法週間事業 介護予防事業（10 月）
- ・石狩支部社会部会議：年 3 回（4 月・8 月・10 月）

〈公2:学術振興事業〉

- ・石狩支部症例検討会 年 4 回（6 月 2 回・10 月・12 月）
- ・石狩支部第 1 回講習会：講師およびテーマは未定（6 月～12 月）
- ・石狩支部第 1 回合同研修会：講師およびテーマは未定（6 月～12 月）
- ・石狩支部若手研修会：年 2 回（6 月～12 月）
- ・石狩支部教育部会議：年 2 回（4 月～10 月）
- ・石狩支部役員会議：年 4 回（4 月・8 月・11 月・2 月）

〈その他事業〉

- ・石狩支部 3 士会合同研修会（7 月）
- ・石狩支部職能部会議：年 3 回（4 月・8 月・11 月）

- ・石狩支部事務部会議：年2回（4～12月）
- ・石狩支部新人歓迎会 石狩2地区：各1回（5月～7月）
- ・石狩支部管理者研修（初級）：年1回（11月）

〈後志支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・後志支部社会部会議（年2回）
- ・後志いきいき健康まつり 出展（7～10月）
- ・後志支部理学療法週間事業～介護予防教室（7月 2ヶ所予定）
- ・後志支部各種派遣推進事業

《公2：学術振興事業》

- ・後志支部第1回講習会（未定）
- ・後志支部第2回講習会（未定）
- ・後志支部症例検討会（年3回；7月、10月、2月予定）
- ・後志支部役員会議（年3回；4月、8月、12月予定）
- ・後志支部事務部・会計部会議（年1回）
- ・後志支部学術教育部会議（年2回）
- ・後志支部職能部会議（年2回）

《その他事業》

- ・後志支部各団体への新年交礼会出席等
- ・後志地域リハビリテーション広域支援センターへの協力（協賛金納入他）
- ・後志支部第1回職能部研修会
- ・後志支部職能部アンケート調査
- ・後志支部新人歓迎会（4～7月）
- ・後志支部管理者研修会

〈空知支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・空知支部社会部会議（第1回、第2回、第3回）（3回）
- ・空知支部高校野球メディカルサポート（空知支部予選5月（春季）、7月（夏季）、9月（秋季）：3回）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（滝川市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（三笠市、7月）
- ・空知支部理学療法週間事業～介護予防・健康増進キャンペーン～（岩見沢市、9月）
- ・空知支部第2回たきかわ介護まつり（滝川市、10月）
- ・空知支部2019ふれあい広場くりやま（栗山町、11月）

《公2：学術振興事業》

- ・空知支部役員会議（第1回、第2回、第3回、第4回）（4月、8月、10月、2月：4回）
- ・空知支部第1回研修会：「慢性腰痛に対する理学療法」（砂川市立病院、5月25日）
- ・空知支部学術教育部会議（第1回、第2回）（2回）
- ・第4回空知理学療法士学術集会（岩見沢市内、11月17日）
- ・空知支部第1回症例検討会（7月・北空知地区）
- ・空知支部第2回症例検討会（10月・中空知地区）
- ・空知支部第3回症例検討会（1月・南空知地区）

《その他事業》

- ・空知支部全体集会（北海道せき損センター、6月）
- ・空知支部第1回職能部研修会：「職場で役に立つ理学療法士になる～安全委員会編～」
（北海道せき損センター、6月）
- ・空知支部第2回職能部研修会：「職場における理学療法士と腰痛」（滝川市立病院、10月）
- ・空知支部新人歓迎会（美唄市内、6月）
- ・空知支部管理者研修会

〈道北支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道北支部第1回健康増進事業（旭川市健康まつり参加6月予定）
- ・道北支部第2回健康増進事業（理学療法週間7月）
- ・道北支部第3回健康増進事業（ダイハツ北彩都店「健康安全運転講座」年2回）
- ・道北支部第4回健康増進事業（ダイハツ士別店「健康安全運転講座」年2回）
- ・道北支部高野連メディカルサポート事業（旭川・名寄・宗谷）
- ・道北支部第1回スポーツ支援事業（SWEET GIRL RUN 9月予定）
- ・道北支部第2回スポーツ支援事業（旭川ハーフマラソン9月予定）
- ・道北支部第3回スポーツ支援事業（バーサーロペットジャパン3月予定）
- ・道北支部行政関連会議への支部長出席（上川中部リハ推進会議総会・NPO法人住まいるイン旭川総会）
- ・道北支部地域リハビリテーション広域支援センター年会費（上川中部・宗谷）
- ・道北支部各種派遣推薦事業

《公2：学術振興事業》

- ・道北支部学術教育部会議（年2回）
- ・道北支部第1回研修会（体表解剖学・河上敬介氏）5月19日（日）
- ・道北支部第2回研修会（稚内開催・講師未定）7～8月開催予定
- ・道北支部第3回研修会（体表解剖触察実習・小橋泰文氏）9月開催予定
- ・第1回道北理学療法学術研修大会（臨床推論に必要な評価とその展開方法）12月15日（日）
- ・道北支部第1回症例検討会（小児6-7月）
- ・道北支部第2回症例検討会（神経9-10月）
- ・道北支部第3回症例検討会（運動器1-2月）
- ・道北支部役員会議（全3回、7月、9月、11月）
- ・道北支部拡大役員会議（2月予定）

《その他事業》

- ・道北支部職能部研修会（12月予定）
- ・道北支部全体集会（12月予定）
- ・道北支部ニュース発行（6回）・編集会議（6回）
- ・道北支部ホームページ更新：随時
- ・道北支部関連団体式典への支部長出席（北都保健福祉専門学校入学式・卒業式、旭川医師会新春懇親会）
- ・道北支部新人歓迎会（上川中部・宗谷）（4～5月）
- ・道北支部管理者研修会12月

〈十勝支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・十勝支部各種推薦派遣事業
- ・十勝支部理学療法週間事業～介護予防～：7月
- ・十勝支部高野連メディカルサポート：5月～10月
- ・十勝支部市町村事業・健康祭りへの参画（2回）：8～10月
- ・十勝支部帯広市介護予防事業への派遣：5～3月
- ・十勝支部社会部会議（年1回）：5～3月
- ・十勝支部客体事業への派遣・推薦に係る調整事業

《公2：学術振興事業》

- ・十勝支部第1回研修会（学術・教育部企画）：9月
- ・十勝支部症例検討会（1回）：11～3月
- ・第3回十勝理学療法学術大会（1回）：11月
- ・十勝支部役員会議（年4回）：4月～3月
- ・十勝支部学術教育部会議（年2回）：5月～10月

《その他事業》

- ・十勝支部内会員名簿の作成と配布：9月
- ・十勝支部新人教育プログラム選択研修会（1回）：7～8月
- ・十勝支部職能部会議（年1回）：5～3月
- ・十勝支部新人歓迎会：5月
- ・十勝支部管理者研修会

〈釧根支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・釧根支部社会部会議（1回）
- ・釧根支部理学療法週間事業（介護予防）（7月）
- ・釧根支部くしろ健康まつり（10月）
- ・釧根支部こう福祉21 厚岸町障害者（児）ふれあいフェスティバル（11月）
- ・釧根支部スポーツ支援活動講習会（時期未定）
- ・釧根支部各種推薦事業
- ・釧根支部防災関連研修会（時期未定）

《公2：学術振興事業》

- ・釧根支部役員会議（4回）
- ・釧根支部学術教育部会議（2回）
- ・釧根支部基礎講習会（1回時期未定）
- ・第1回釧根理学療法学術大会（9～12月頃開催予定）

《その他事業》

- ・釧根支部職能部会議（3回）
- ・釧根支部地域リハビリテーション研修会（時期未定）
- ・釧根支部新人教育プログラム選択研修会（時期未定）
- ・釧根支部会計部会議（1回）
- ・釧根支部新人歓迎会
- ・釧根支部管理者研修会

〈道東支部〉

《公1：医療保健福祉事業》

- ・道東支部高校生対象のリハビリテーション見学について（5月～10月予定）
- ・道東支部理学療法週間事業～介護予防推進キャンペーン～（7月14日）
- ・北見市健康まつりへの出展
- ・網走市市民健康まつりへの出展
- ・ハッカの日ジョイントコンサート（9月予定）
- ・北見市ふれあい広場への出展
- ・道東支部体操普及推進事業（4月～3月）
- ・高栄フェスティバルへの出展（8月4日予定）
- ・道東支部社会部会議（年5回予定）
- ・道東支部地域包括協働事業（同行訪問、施設ケースカンファレンス）
- ・きたみんと体操指導士養成講座

《公2：学術振興事業》

- ・第3回道東理学療法学会（7月6日）
- ・第1回道東支部学術研修大会（9月21日）
- ・道東支部研修会（年2回：11-3月予定）
- ・道東支部第1回症例検討会（7～3月予定）
- ・道東支部役員会議（年4回予定）
- ・道東支部学術教育部会議（年5回：5、7、9、11、2月予定）

《その他事業》

- ・道東支部新人教育プログラム選択研修会（7～3月予定）
- ・道東支部ニュース発行（年4回：5、9、12、3月予定）
- ・道東支部講師派遣事業公文書発行（適宜）
- ・道東支部職能部会議（年4回予定）
- ・道東支部第1回職能部研修会（テーマ臨床実習指導について：8月3日）
- ・道東支部第2回職能部研修会（テーマ認知症）
- ・道東支部地域包括協働事業推進会議（年4回：6、8、10、2月予定）
- ・道東支部新人歓迎会
- ・道東支部管理者研修会